

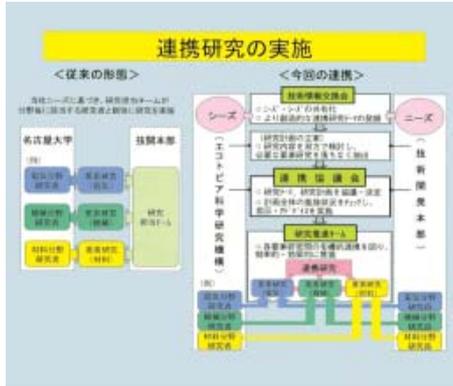
研究開発に係わる連携実施協定を締結

10月14日(木)中電ビルにおいて、国立大学法人名古屋大学エコトピア科学研究機構(機構長:松井恒雄)と技術開発本部(清水本部長)との間で「研究開発に係わる連携実施協定」が締結されました。

この連携実施協定は、双方の研究開発の強化、加速および学術研究活動の活性化を図るとともに、研究者・技術者の育成に貢献することを目的とするものです。

具体的な連携項目は、次の3項目です。

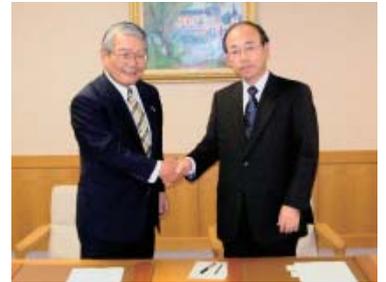
- エネルギー・環境・材料・情報を始め広い分野での連携研究(共同研究・受委託研究)の実施
- 最新技術に関する情報交換、およびそれに基づく研究テーマの発掘
- 研究者、技術者、大学院生などの育成



連携体制としては、連携を円滑に推進するために、双方の代表者からなる「連携協議会」およびその下部に「技術情報交換会」ならびに個別の連携研究を推進する「研究推進チーム」を組織し、それぞれの活動をはじめめています。

これまで、名古屋大学と中部電力とは分野毎の研究を個々に実施してきましたが、今後は、「連携協議会」の主導のもと、エコトピア科学研究機構と技術開発本部全体でニーズ・シーズのマッチングを図ることにより、多分野にまたがる複合的な研究テーマでの連携も可能になるとともに、研究の実施にあたっては、双方の各関連分野の研究者が有機的に連携することにより、効果的・効率的な研究推進が期待できます。

国立大学法人化を機に同大学に平成16年4月に設置された部局横断型融合研究推進組織。自然科学と人文・社会科学が融合した学際研究を行う。



協定書締結式後の清水本部長(左)と松井エコトピア科学研究機構長(右)

瀬川さんが博士号取得

電力技術研究所お客さまネットワークグループの瀬川 修さんは、平成16年10月29日に名古屋大学から博士号(工学)を授与されました。

瀬川さんは電力技術研究所に配属以来、主に音声認識を用いたインタフェース技術および情報検索技術の研究開発に従事してきました。名古屋大学では工学研究科にて板倉教授、武田教授の指導の下、在職のまま音声認識の研究を続けてきました。今回の博士号授与は、会社と大学で開発した音声認識アルゴリズムおよび系統運用分野での応用技術(電話音声検索システム)の研究業績によるもので、その学位論文「音声認識を用いた電力系統監視制御システムの高度化に関する研究」は、企業での独自性のある研究開発として高く評価されています。

瀬川さんは、「技術開発本部をはじめ社内外の多くの方にご指導・ご協力をいただいたおかげで研究業務の成果を学位論文にまとめることができ、大変感謝しております。大学で得た研究開発のノウハウを会社の業務に活かしていきたいと思っております。」とその喜びと感謝の気持ちを表しています。



電気関係の名誉ある表彰実績

【第49回澁澤賞】

広く電気保安確保等に優れた業績をあげた方々に授与されるもの。授賞式は16.11.19

| 受賞件名 | 当社受賞者 |
|---------------------|-------------------------------|
| 活線劣化診断装置の開発グループ | 電力技研お客さまネットワークG 熊澤 孝夫さん |
| アルミ系電線溶融接続工法の開発グループ | 基幹系統建設センター長野送変電建設所 中村佳津彦さん |

【第52回電気科学技術奨励賞(オーム技術賞)】

電気技術の進歩等に寄与した発明等で優れた業績を挙げ、今後更に顕著な成果が期待される人に授与されるもの。授賞式は16.11.19

| 受賞件名 | 当社受賞者 |
|--|----------------------------------|
| 瞬時電圧低下補償用超電導電力貯蔵システムの開発 | 電力技研電力ネットワークG 長屋 重夫さん・平野 直樹さん |
| 275kV CVケーブル接続部の施工工期短縮化およびコンパクト化技術に関する開発と実用化 | 流通本部工務部業務G 下廣 大輔さん |

【第3回中部科学技術センター振興賞】

中部地域で過去10年間に優れた研究開発を行い、産業の発展に顕著な業績を上げた技術者に授与されるもの。授賞式は16.12.16

| 受賞件名 | 当社受賞者 |
|------------------------|----------------------------|
| 6kV級CVケーブル用活線劣化診断装置の開発 | 電力技研お客さまネットワークG 熊澤 孝夫さん |